

テレタイム C 交換マニュアル

はじめに

テレタイムCの故障機と代替機を入れ替える手順についてご説明します。

普段通信している方法により、入れ替え方法が異なります。

以下のいずれかの方法でデータ移行をおこなってください。

- ・ LAN通信
- ・ フォルダ通信
- ・ USB通信



故障機が通信可能な場合、入れ替え前にクロノスPerformanceに[打刻データ]の取り込みをおこない、故障機の未送信打刻が0件の状態にしてください。

・ LAN 通信

代替機にLANアドレス（通信設定）を設定して、クロノスPerformanceから氏名等を送信することができます。

※代替機発送受付の際に通信設定を伺ったお客様

LAN アドレス（通信設定）を設定してある代替機を発送しているため、手順 2・3 は飛ばして **p.2[3. クロノス Performance で代替機と通信]**から操作をおこなってください。

1. 故障機で通信設定の確認

以下の手順でテレタイム C を C ツールに接続し、IP アドレス等を確認してください。

※故障機が起動しない場合、ネットワークを構築したご担当者様に LAN アドレス(通信設定)を確認してください。

- ① 故障機を PC に繋げて「C ツール」と接続
C ツールについては以下のページをご参照ください。

！C ツールについて ⇒ P6

- ② [ネットワーク設定]のタブをクリック

- ③ [現在の設定]で

- ・ IP アドレス
- ・ サブネットマスク
- ・ ゲートウェイ

を確認します。



2. 代替機に通信設定を入力

故障機で確認した[ネットワーク設定]画面の内容を、代替機の[ネットワーク設定]画面に設定します。

- ① 代替機を PC に繋げて「C ツール」と接続
- ② [ネットワーク設定]のタブをクリック
- ③ [変更する内容]の以下にチェックを入れ

手順 1 で確認した故障機の通信設定の内容を入力

- ・ IP アドレス
- ・ サブネットマスク
- ・ デフォルトゲートウェイ

- ④ [反映]ボタンをクリック

- ⑤ ③で入力した内容が

[現在の設定]に反映したことを確認します



3. クロノスPerformanceで代替機と通信

以下の手順で通信をおこない、氏名等を代替機に送ります。

- ① [日常処理]→[通信処理]画面で、
該当のタイムレコーダーを選択

- ② [保守]をクリック

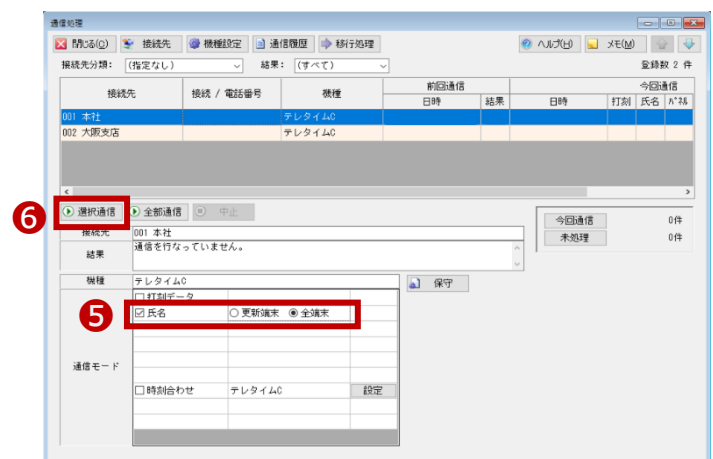
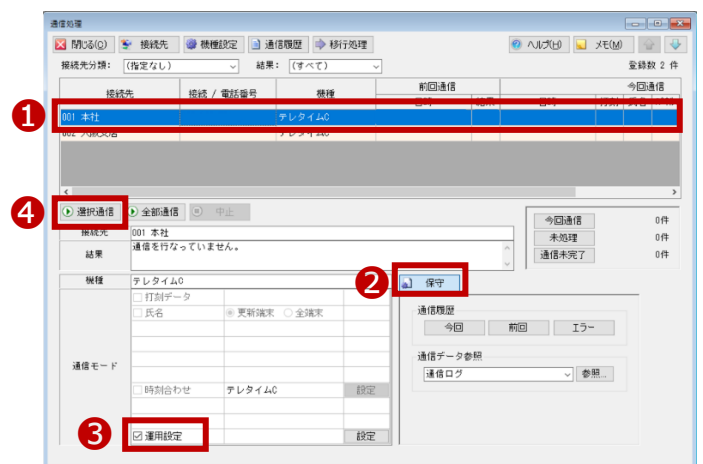
- ③ [運用設定]にチェック

- ④ [選択通信]をクリック

通信が完了したら、[運用設定]のチェックを外す

- ⑤ [氏名]にチェックをして、[全端末]を選択

- ⑥ [選択通信]をクリック





注意

手順②～④は、クロノスPerformanceで [運用設定] (テレタイムCの時計表示の設定や、カード読み取り音量など)

の登録をしている場合に必要な操作です。

手順③の[運用設定]右横にある[設定]から、登録を確認することができます。

登録がない場合は、代替機で設定が必要な場合があります。

※通信が失敗する場合は、代替機に設定した LAN アドレス (通信設定) に誤りがないかをご確認ください。

また、代替機の再起動をお試しください。解消しない場合は、サポート窓口へお問い合わせください。

4. 代替機で動作確認

カードをかざして打刻ができることをご確認ください。

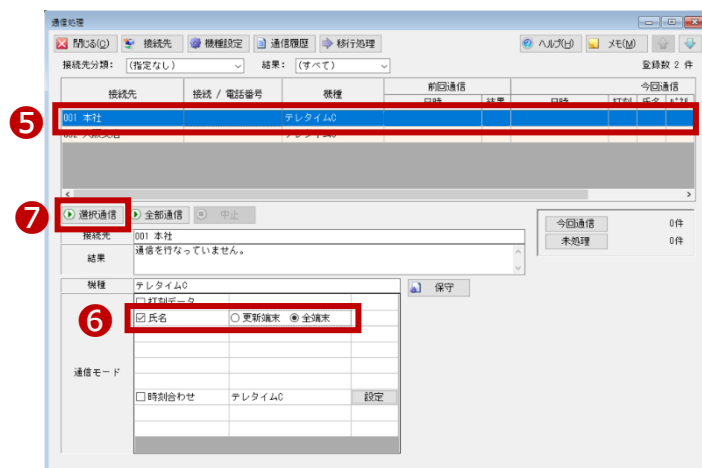
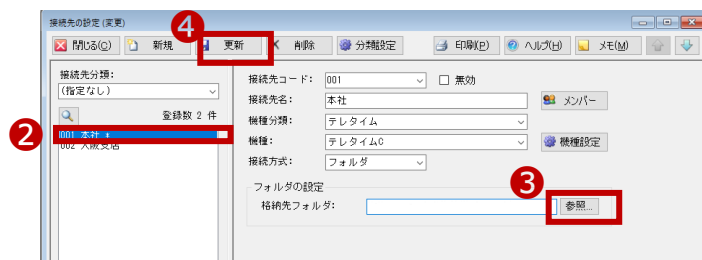
フォルダ通信

クロノスPerformanceから氏名を任意の場所に出し、テレタイムCに取り込むことができます。

1. クロノスPerformanceから氏名を出力

以下の手順で通信をおこない、氏名を任意のフォルダに出力します。

- ① [日常処理]→[通信処理]画面で、
[接続先]を選択
- ② 該当のタイムレコーダーを選択
- ③ [格納先フォルダ]の[参照]ボタンをクリックし
出力先を選択
- ④ [更新]ボタンをクリック
- ⑤ [日常処理]→[通信処理]画面で、
該当のタイムレコーダーを選択
- ⑥ [氏名]にチェックをして、[全端末]を選択
- ⑦ [選択通信]をクリック
- ⑧ フォルダに「user.xml」が出力されたことを確認し
テレタイムCがある拠点へ
メールやUSBを利用して送付ください。



2. 代替機に氏名をインポート

Cツールを使用して、手順1で出力した氏名を代替機に取り込みます。

- ① 代替機をPCに繋げて「Cツール」と接続

Cツールについては以下ページをご参照ください。

! Cツールについて ⇒ P6

- ② [ユーザー]のタブをクリック

- ③ [マスター変更]の[⋮]をクリック

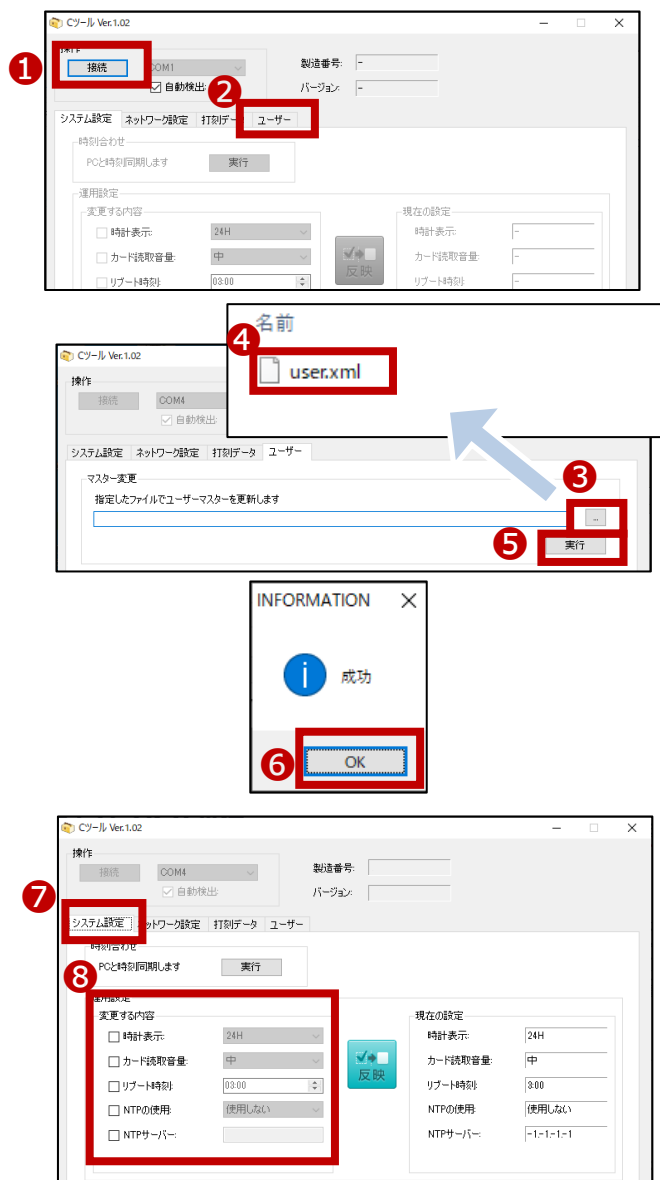
- ④ 手順1で出力した「user.xml」を指定

- ⑤ [実行]ボタンをクリック

- ⑥ 取り込みが成功すると右のメッセージが表示されるので
[OK]ボタンをクリック

- ⑦ [システム設定]タブをクリック

- ⑧ 必要に応じて[運用設定]を設定



3. 代替機で動作確認

カードをかざして打刻ができることをご確認をください。

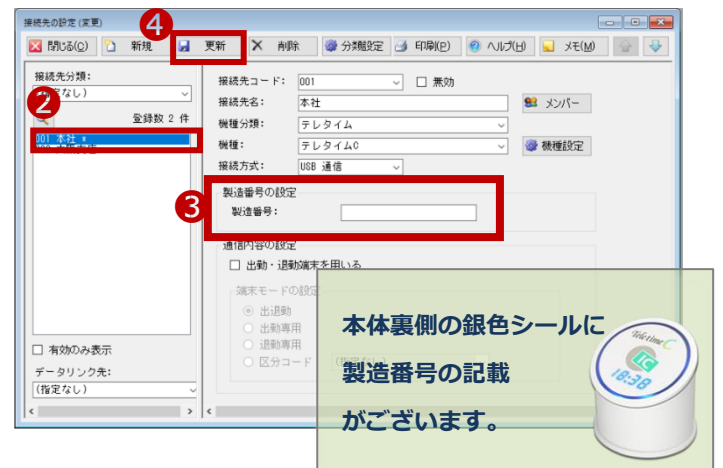
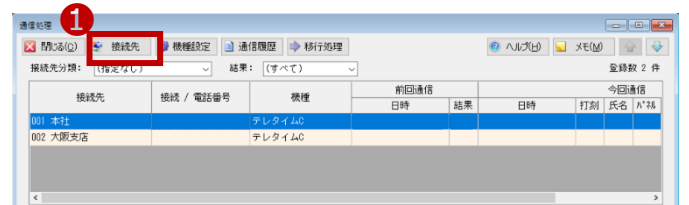
USB 通信

代替機とクロノス Performance がインストールされている PC を直接 USB ケーブルで繋ぎ
クロノス Performance から氏名等を送信することができます。

1. クロノスPerformanceに代替機を登録

以下の手順でクロノス Performance に代替機を登録します。

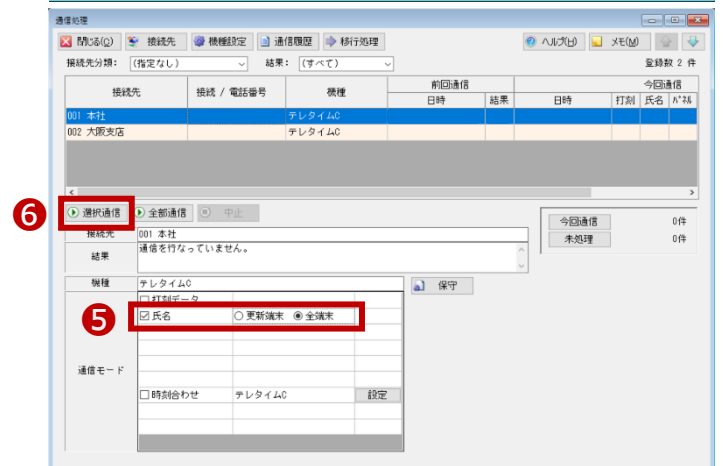
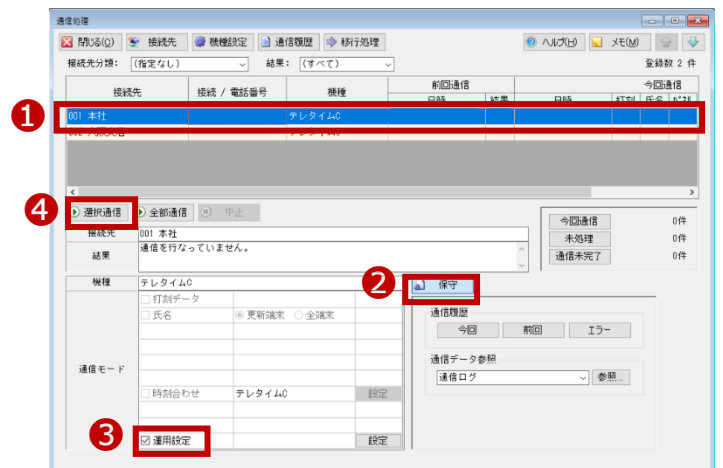
- ① [日常処理]→[通信処理]画面で、
[接続先]を選択
- ② 該当のタイムレコーダーを選択
- ③ 「製造番号」欄に代替機の製造番号を入力
※代替機の製造番号は
テレタイム本体裏側のシールで確認できます
- ④ [更新]をクリック



2. クロノスPerformanceで代替機と通信

以下の手順で通信をおこない、運用設定と氏名を代替機に送ります。

- ① [日常処理]→[通信処理]画面で、
該当のタイムレコーダーを選択
- ② [保守]をクリック
- ③ [運用設定]にチェック
- ④ [選択通信]をクリック
通信が完了したら、[運用設定]のチェックを外す
- ⑤ [氏名]にチェックをして、[全端末]を選択
- ⑥ [選択通信]をクリック



3. 代替機で動作確認

カードをかざして打刻ができることをご確認ください。

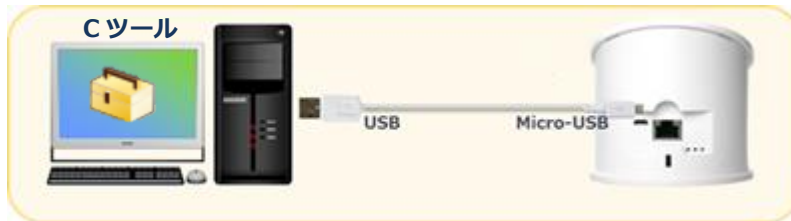
C ツールについて

テレタイムCは操作パネル等がないため付属の C ツールですべての設定をおこないます。

C ツールは本体と同梱されていますので、任意の PC でご利用ください。インストール等は一切不要です。

起動

- ① C ツールを起動する PC とテレタイムCを付属の USB ケーブルで接続します。



- ② 商品購入時に付属されてるメディア「App」フォルダ内にある「CTool.exe」を任意のフォルダにコピーして実行します。
※メディアがない場合は、以下 URL よりダウンロードしてください。

<https://www.xronos-inc.co.jp/support/supportinfo/toolManual/>

2017年04月19日

テレタイムC「Cツール」

テレタイムCのリリースに伴い、テレタイムCを設定するための設定ツールを用意いたしました。
製品に添付のメディアに収納されていますが、メディアがない場合は、こちらからダウンロードしてご利用ください。

更新情報 (2018年3月7日)

1. テレタイムCクラウドで登録したIDm情報が、クラウドサーバーへ反映されるよう変更しました。

2. テレタイムC-Xで登録したIDm情報が、クロッションへ反映されるよう変更しました。

ご利用方法

下記ファイルをダウンロード後、解凍してください。
解凍後は、「テレタイムC」取扱説明書.pdfの内容に従ってご利用ください。

📎 テレタイムC設定ツール「Cツール」(ZIP:1.57MB)